

1 単 元 おおきくなあれ

2 情報の交流を行う場面

自分が育てた野菜を記録した観察記録シートと、友達が育てた野菜を記録した観察記録シートを、教室いっぱいの用紙に日付ごとにまとめ、見比べたり、振り返ったりする。

3 情報の交流により期待される効果

自分と友達の野菜の記録を日付ごとに見比べることで、気づきが広がったり、深めたりすることができる。

4 指導計画（12時間完了）

- (1) こんどは なにを そだてようかな・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4時間
- (2) やさいの せいちょうを きろくしよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2時間
- (3) やさいの きろくを くらべよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2時間（本時2/2）
- (4) おいしい やさいが えきたよ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2時間
- (5) いっぱい とれたよ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2時間

5 本時の指導

(1) 目標

- 野菜の様子の変化や世話したことを、表現し伝え合うことができる。
- 野菜の様子を見比べて、自分の野菜の変化や、友達の野菜との違いに気付くことができる。

(2) 準備

教 師：子どもの観察記録を一枚の用紙にまとめたもの
こども：ワークシート

(3) 指導過程

時間配分	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	評価の観点と方法
5分	1 本時のめあてを確認する。	○ 自分が育てている野菜の成長を振り返ったり、友達の野菜の成長と比較したりすることを確認する。	
10分	2 自分の野菜の成長を振り返る。	○ 自分の記録を日付順に振り返り、気付いたことをワークシートに記録させる。 ○ 背丈や葉の数、実の数に注目して、振り返らせる。	○ 野菜の成長を振り返り、現在の姿との違いに気付いているか、つぶやきやワークシートへの記述内容からつかむ。
15分	3 自分の野菜の成長と友達の野菜の成長を比較する。	○ 自分の記録と友達の記録を比較して、自分との違いを探させる。 ○ 実の数や大きさに注目させて比較させる。	○ 自分の野菜と友達の野菜の違いに気付いているか、ワークシートへの記述内容からつかむ。

10分	4 気付いたことを話し合う。	○ 振り返ったり，比較したりして気付いたことを友達同士で話し合わせる。	○ 自分で気が付いたことを発表し，友達が気が付いたことを，興味をもって聞いているか，話し合いの様子からつかむ。
5分	5 本時の活動を振り返る。	○ 活動の後に新しく気付いたことは何か答えさせる。	

6 実践の様子

子どもたちは教室いっぱいに広がった観察記録に驚きを隠せない様子だった。まず，自分の記録を振り返るために，自分の記録がある箇所へ子どもをそれぞれ移動させた。「自分の野菜の成長を順番に見ていきましょう。気が付いたことをワークシートに書きましょう。」と子どもたちに指示をすると，子どもたちはゆっくり歩きながら自分の記録を振り返っていた。「私の野菜，こんなに小さかったんだ。」という声や，「一ヶ月より前に花が咲いたんだ。なつかしい。」という声が聞かれ，気付いたことをワークシートに記入していった。【資料①】



次に「自分の野菜と友達の野菜を比べてみましょう。同じ日付で比べましょうね。」と指示すると，子どもたちは自分の野菜と友達の野菜の比較をしていった。その中で，「私のキュウリの実はクラスの中で一番大きいんだ。」という声や，「僕の野菜は5月から7月の間に一番背丈が伸びたよ。」など，様々なことに気づき，ワークシートに記入していった。



その後，気付いたことをグループで伝え合ったり，聞き合ったりして，気づきを広げたり，深めたりすることができていた。【資料②】

7 成果と課題

- 野菜の観察記録を教室いっぱいの大きな用紙にまとめたことにより，自分の野菜の成長を振り返ったり，友達の野菜の成長と比較したりすることが容易になり，気づきが広がったり，深まったりした。
- 気付いたことを発表することによって，友達の気づきを知ることができた。
- 子ども同士が指摘し合う活動がなかったため，子どもによって気づきの広がりや深まりに差が出てしまった。